

第3次 湯梨浜町教育振興基本計画 検討委員会

【 専門部会 検討状況 】

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況

部会等	素案修正	当日回答	質問・意見	ページ	施策
第1回	<p>●8ページに記載 併せて、近年、梅雨前線や台風による豪雨及び地震による自然災害が頻発しており、日本全国でいつ自然災害が起こることもかぎらない状況です。児童生徒が周囲の人々とともに助け合い、状況に応じて自他の命を守る適切な判断と行動がとれるよう、防災教育を推進していくことの重要性も増しています。</p>	<p>P3⑩安全指導、安全管理の徹底のところに記載しているが、第2章「1教育をめぐる社会変化」ではふれていないので、意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の記載があるが、集中豪雨など自然災害が続いているので、防災（自然災害）教育についても記載する必要があるのか、これからのいつ想定外のことと起こるか分からない状況で防災力をつける必要がある。</p>	7～8	
第1回		<p>町内の小中学校の罹患率が以前に比べてどうかということ で、減ってきていると理解している。実施の方法について協議しながら進めていきたい。</p>	<p>フッ化物洗口について、むし歯の罹患率が国より少し高いよう うで、5年間取り組みでいく中で、成果が見えにくい。学校現場にやや負担が大きい。</p>	62	4-(22)
第2回		<p>基本的に、国、県の計画を受けて策定するものであり、国、 県の方針と大きくは変わらない。第2次計画との違いとして は、コミュニケーション・スクールの推進、教職員の働き方改革、 ICT教育の推進という新しい動きを盛り込んでいるのが特徴。 他市町とも義務教育という部分では大きな違いはない。 【学校】学校としては、学習指導要領が改訂され、20ページ に書かれている主体的に学習に取り組む、関わりながら深めて いく学習ということも大きな課題である。</p>	<p>この第3次計画全体について、湯梨浜町ならではの目玉、特 徴は何があるか。 少人数学級の取り組みをされたり、コミュニケーションも 順調のようだが、湯梨浜町の特徴的な方針が打ち出せたら いいと思う。 国、県目標だけではなく、児童生徒や保護者の目標を大事に してほしい。</p>		
第2回		<p>町ホームページで公開する。 各保護者に配付するところまでは考えていない。 この計画を受けて、各校がこれらの方針を入れながら学校の 教育目標、教育方針を考え、改善していく。年度当初のPPT A総会で保護者に周知をする。 この計画に基づき、毎年教育要覧を作成し、1年ごとに外部委 員により教育委員会が実践したことを評価していただき、議 会に報告し、町ホームページに掲載する。保護者の方には、 冊子を配るのではなく、学校教育の実践の場でご理解いただ くのが分かりやすいのではないかと思っている。 【学校】この計画をもとに学校現場で実践していく。</p>	<p>この計画はどのような形で報告なり周知をされるか。 保護者はどのような形でこれを知ることができるか。この会 に出るまで、第2次計画のことも知らなかった。このように一 生懸命考えて作られているものなので、是非、周知をしてほ しい。</p>		
第2回					

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標1）

実施	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標1	19	NRTという学年末テストを小中学校でやっているが、町全体のデータがあるのか、それとも各学校のデータ情報持ち寄りなのか、どのような形で集計をされるか。	町一つになったデータをいただけるので、3小学校が一つになった結果が返ってくる。	第1回	
目標1	19~20	NRTテストの全国平均、県平均の「平均」が気にならない。平均よりも、得点の分布で、できる子とできない子の得点差を是正し、底上げをすることによって平均が上がるのではないか。	各学校では、標準偏差により分析を行っている。2極化する分布になっていることもあり、その対応も検討している。また、各設問についても検討している。この設問の正答率が全体で悪いとすれば、そこに対する対応としては、授業の中で改善するようにしている。なお、指標としては、「平均」で行きたい。【学校】2極化し差がつかずつつあることは、各学校としても大きな課題として上がってきている。主体的に学びに向かう姿勢を重要視して底上げをするという形で学校で取り組みを進めている。	●19ページ 【現状と課題】に追加 『また、全国学力・学習状況調査、NRTテスト、標準学力検査等の結果、標準偏差が10.0を超え、2極化の傾向にある教科もあり』	第1回
目標1	19~20	「家庭学習の手引き」の活用にはあまり利用されていないか。聞いている中では手引きはあまり利用されていないようだが、その評価はいかかかかなものか。各学校で指標を出しているか。クラブ活動などで時間を競争するなど、集団の中で高まり合う学級力も大きく影響すると思う。	現在発行している家庭学習の手引きは、それぞれ学年別の学習内容が書いてある児童生使用のもの、保護者向けのものがある。これについては見直し時期で、小1~中3までの9年間を見通した学習手引きが一枚で見られるようなものを考えている。啓発としては不十分なところもあるかもしれない。より活用しやすいものとしていきたい。各学校が学校評価の中で家庭学習の取り組みを評価項目の一つとしていているが、町としてそのデータを取っていないので評価には盛り込んでいない。 【学校】学校の取り組みとして、家庭学習をふりかえる週間をつくって、自主学習で手引きを参考とするとといった形であり、指標とするのは難しい。主体的な姿でないといけない。 【保護者】机のところに貼っており、目安にはなっていると思うが、本人のベースで考えていくようにしている。 「家庭学習の手引き」をきっかけに、子どもと家庭学習について話すこともある。	●20ページ 【取組に対する評価目標】に追加 指標：家庭学習の習慣づくりをめざした取組 目標値：学校ごとを実施 ●20ページ 【成果に対する評価目標】に追加 指標：平均1日あたりの家庭学習の時間（小学6年生1時間以上、中学3年生2時間以上の割合）（全国学力・学習状況調査） 現状値：（小6）66.4%（中3）25.4% 目標値：全国平均を上回る	第1回
目標1	20	「家庭学習の手引き」は、PTAが使いやすい学年ごとのものかいい。使ってもらわないと意味がないので、行政や専門家だけで作るのではなく、作る過程で保護者にも意見をもらい、家庭の実態を踏まえて作ってはどうか。	今年度見直す予定で、学年ごとにするか9年間がひとつになったものにするか、学校の先生の意見も聞きながら考えていく。各学校で保護者の意見を踏取らないで、その意見を取り入れながら、より活用できるものになるようにしていく。	第2回	
目標1	20	「家庭学習の手引き」は目安にはなっているが、学年ごとでの学習時間はどのように決めていくのか。	各校の担当の先生とも共有し、意見をいただいで見直ししてきた。今年度も各校の窓口となる先生を通じて各校の意見を吸い上げて、保護者の意見もというところであればPTAのどこかで見ていただいで作ることも可能だが、保護者の方に会に参加していただくということも考えていない。 以前、各学校が独自に定めていた学年ごとでの学習時間をもとに、各校の意見を聞きながら定めている。	第2回	

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標1）

実施	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標1	1-(1)	19	【めざすところ】に「主体的・対話的で深い学び」とあるが、哲学的でとても難しい表現であり、これをPPTAに伝えるのに「心構、意欲、態度」のように、かみ砕いて分かりやすい表現にならないか。		第2回
目標1	1-(2)	21~22	今、学校では中学年まで英語活動の取り組みが始まっている。1時間に英語の使用率が50%がどうかと担任に聞いてみた。中学校の75%はまあまあいいだろうが、ゲームの説明では日本語を使うことが多いが、全体的な学習の流れとしては英語を半分くらい使ったほうがいいと言っている。今は使用率が低いが目指したい姿であり頑張っていきたい。	基本的に話し合い重視で、自分一人で問題を解くのではなく、友達とその解き方を意見交換したり、相談したりといった場面を取り入れてやっけていく。「意欲」という学びに向かう姿勢が今までに比べて重視され、評価の観点となっている。 今後、実現に向けて各校が研究会等で追求していくことになる。	第1回
目標1	1-(2)	21~22	第2次振興計画には中学校のオールイングリッシュ授業の記載があったが第3次には記載しないか。	オールイングリッシュとクラスルームイングリッシュというものがあ、オールイングリッシュは数字で表すなら75%以上を目指そうと国は言っているもの。50%以上がクラスルームイングリッシュ。	第1回
目標1	1-(2)	21~22	今年度から3、4年生の外国語活動が始まるということだが、1、2年生は何か英語に関わることをされる予定があるか。 各とも園では3~5歳までは年6~7回、小学校のALITにきてただ「英語であそぼう」という時間を作り、簡単な英語から親しむようにしている。その延長で1、2年生も英語に親しむ時間が少しでもできたらいいと思う。	【学校】ALITは3、4年生のクラスに入るので、ほとんど低学年は無くなってしまっているのが実情。ALITの授業時間が限られているので難しいが、1、2年生はALITと時々給食時間に交流することがある。	第1回
目標1	1-(2)	21~22	低年齢の英語教育は大事だと思う。勉強だと苦手意識が出てしまうので、遊びの中で楽しく英語を使い、低年齢から遊びとしてつなげていくのがいい。	教育課程があるので、1、2年生も取り入れていけばいいが、時間が限られているので、そのあたりも考える必要がある。	第1回
目標1	1-(2)	21~22	小学3年生の我が子が英語を勉強している姿を見ないか、週何回とかあるか。時間割には英語が入っているか。 6年生の英語の授業を見たが、できる子とできない子がおり、一人の先生だと見れない部分があると思うので、貴重な時間なので補助の先生がおられたらいいと思う。	外国語活動は、週1回ある。 ALITは、各学級に1回は入れるように考えて配置をしている。 【学校】構築している段階という部分もあるが、活動を中心に学年での積み上げをしていく工夫をしていきたい。	第1回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標1）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標1 1-(3)	22~23	ICT支援員は配置してあるか。	今年から配置している。 ICTに慣れている先生と慣れていない先生があるので、相談対応として業者の週に半日ずつ各学校に行ってもらうようにしている。また、機器の問題解決についても今年から別に配置するようにしている。これ以降もそういう形で配置をしていきたいと考えている。		第1回
目標1 1-(3)	22~23	全員に端末はあるか。	国は休校が長いところを優先的に入れていく予定であり、台数が限られていることあるが、今年度末までには1人に1台を目標としている。		第1回
目標1 1-(3)	22~23	コロナが収まらずにまた休校になった場合、端末が無いため家庭とある家庭では開きが出てくるので工夫が必要。	方が一休校になった場合には、プリントやドリルなど、多様な準備をしていきたい。ICTもその一つの選択肢としたい。パソコン1台と30人がつながるといった双方向性のもものは費用もかかる。例えばYouTubeにあげて勉強する方法もある。学校で勉強ができることを一番に願っている。		第1回
目標1 1-(3)	22	事務局修正提案		●29ページ一部削除 「また、急速に情報化が進む社会の変革期にあたってAI（人工知能）をはじめとする先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられるようになっていく中、これらがもたらす影響をしっかりと捉え、創造する人材が求められています。」	事務局提案
目標1 1-(4)	23~24	子ども園になり、幼保一元化になり、保育と教育が混在している。遊びと学び、保育時間と教育時間について現場ではどのように認識しているか。0歳からの教育として統一カリキュラムを作っていくことが必要ではないか。	各園が全体計画の中で各園独自の内容で0から5歳の計画を立てている。一日の生活の中で保育と教育を区切ることではないので、外部の方が見たら分かりにくいかもしれないが、計画に沿って各園でやっている。 【学校】こども園と小学校が課題を共有しながら指導力を向上していきたい。		第2回
目標1 1-(5)	25-26	放棄して登校している子がいるが、医療との連携が難しいと聞いている。保護者の中には医者に「嫌なら学校に行かなくていい」といわれたらそのひと言で学校に行かなくていいと思う人もいて、医者が絶対的だとしている状況がある。	今後の課題であり、各校と相談し、連携しながら進めていく。		第2回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標1）

実施	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標1	1-(5) 25~26	児童虐待について記載がないが、小・中学校とも児童虐待ケースが多い。子育て支援課要対協の管轄だからというところでこの計画に載っていないのか、もしそうだとしたら、それはいかかなものか。 精神科は虐待や不登校については親の親、その親と成育歴を遡って対処する。精神科医との連携は大事である。	34ページの2-(9)「いじめ、不登校等に対する対応強化」の「等」に虐待を含めているが、確かに文言は上がっていない。虐待も含めて、学校には教育委員会と通告の流れを子育て支援課要対協事務局と連携して作って周知している。 児童虐待に対しては、個々ではなく学校体制で福祉部局と連携しながら推進していくということを進めている。「児童虐待」や「育児放棄」の文言を前面に出して記載する。 家庭で親が面倒を見ないなど、親が親になっていないという事例が全国的にたくさんある状況であり「等」としているが、記載について検討する。	●34ページに記載 【現状と課題】 不登校の構構は、子どもたちの発達の課題や「児童虐待、貧困など」家庭基盤の... ●36ページに記載 児童虐待に対して、早期発見努力義務・早期通告義務を果たすとともに、児童生徒の安全を確保するために、学校と福祉・医療・警察等の関係各機関が連携して、虐待の被害を防止する適切な対策をとるための体制づくりに努めます。	第2回
目標1	1-(5) 26	特別支援の指標について、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の割合をと言われたが、やや、支援が必要な子については認識が交わりにくい部分があるので、そこだけで捉えるのは少し難しい気がする。 クラス全体でみんなを認め合うなど、学級運営の部分もある。	学校全体として子どもたちがきちんとして理解しているかというところで指標を何にしようか考えた際に、「成果」としたときに、みんなに浸透していくということを考え、支援が必要な子がどう感じているかというところに視点を捉えて、hyperQJで満足度の数値について提案した。 特別な教育的支援を必要としている児童生徒が落ちていて学校生活を過さず姿を目指していきたいと考えている。 学級運営は学級運営としていろいろいる必要な要素が出てくるので、特別支援として評価したい。		第2回
目標1	1-(5) 25~26	障がいのある子に対するいじめの事案があった。まわりの子への教育に係る記載をしてほしい。	●25ページに記載 【現状と課題】 特別な教育的支援を必要とする子どもにかかわる大人や子どもとの配慮事項・方法等についての知識・理解を促進していく必要がある。 【めざすところ】 特別な教育的支援を必要としている子どもにかかわる大人や子どもが配慮事項・方法を理解し実践することにより、特別な教育的支援を必要としている子どもも、その子どもにかかわる人もより生活しやすい社会をつくる。 ●26ページに記載 【成果に対する評価目標】 指標：特別な教育的支援を必要としている児童生徒のhyperQJ調査の1回目と2回目を比較。また、2回目の調査で満足群に属している児童生徒の割合を全国平均以上とする。 現況値：（各学校に調査依頼を行う） 目標値：満足群に属している割合を〇%アアップする	教育委員	

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標1）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標1 1-(6)	26~28	「道徳教育」「人権教育」「いのちの教育」の違いが分からないう。道徳教育が教科としてどう評価されるのか。通知表に道徳があるのか。これらが育ち伸びていく子どもたちにとって、肯定的評価でないと絶対にいけないと思う。	新たに「特別の教科 道徳」として小学校は昨年度から、中学校は今年度から位置づけられた。学校には「人権教育」という教科の時間はなく、全教科・全領域で全てにベースとしてある。「道徳教育」の時間は要の時間として、ベースとして道徳も全教科・全領域でやっていくので被る部分がある。 通知表は記述式。道徳の時間そのものにどれだけ一生懸命考え、自分を見つめ、頑張っているかを評価している。 個々の道徳性の評価ではなく、人間性や取り組みで評価する。		第2回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標2）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	業務修正	部会等
目標2	29~30	事務局修正提案 ②9、30ページに記載 近年、グローバル化や急速な情報化の進展により、将来の変化を予測することが困難な時代を迎えようとしてい ます。身の回りのものにICTが活用されていたり、日々 の情報収集やコミュニケーション、生活上の必要な手続 きなど、日常生活における営みがICTを通じて行ったり することが当たり前となっている中では、子どもたちに は、ICTを受け身で捉えるのではなく、手段として積極 的に活用していくことが求められています。	当日回答 ●29、30ページに記載 近年、グローバル化や急速な情報化の進展により、将来 の変化を予測することが困難な時代を迎えようとしてい ます。身の回りのものにICTが活用されていたり、日々 の情報収集やコミュニケーション、生活上の必要な手続 きなど、日常生活における営みがICTを通じて行ったり することが当たり前となっている中では、子どもたちに は、ICTを受け身で捉えるのではなく、手段として積極 的に活用していくことが求められています。	業務修正 ●29、30ページに記載 近年、グローバル化や急速な情報化の進展により、将来 の変化を予測することが困難な時代を迎えようとしてい ます。身の回りのものにICTが活用されていたり、日々 の情報収集やコミュニケーション、生活上の必要な手続 きなど、日常生活における営みがICTを通じて行ったり することが当たり前となっている中では、子どもたちに は、ICTを受け身で捉えるのではなく、手段として積極 的に活用していくことが求められています。	事務局提 案
目標2	32~33	施策2-(8)には新型コロナウイルスのことが記載され ていない。 コロナで価値観が変わってきているし、ライフスタイ ルがかわってきているし、教育の在り方も変わってき ている。この変化の時代であり、5年間のうちにコロ ナが収まったとしても変化の時代をどう捉えていくか というのが必要ではないか。	コロナについては5年後には状況がどうなっているか不明。インフ ルエンザのように特効薬が出るかもしれない、具体的施策としての 記述とするか、緊急対応とすか検討する。今後マスカや消毒液 の購入等学校への手立てはしていききたい。羽合小学校の洋式トイレ の数を増やす取り組みもしていく。	●32ページに記載 【めざすところ】校内で新型コロナウイルスやインフル エンザ等の感染症の感染拡大を防止するための教職員の 研修、児童生徒の意識の向上による行動化をめざすと ともに衛生用品の配備等に努めます。 ●33ページに記載 【施策項目①安全指導、安全管理の徹底】 校内で新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症 の感染拡大を防止するための教職員の研修等による意識 向上、児童生徒の感染予防のための行動化に努めると ともに衛生用品の配備等を図ります。	第1回
目標2	33~34	子どもの貧困対策については、1つの施策として大き く取り上げるべき項目ではないか。湯梨浜町のお金がない。 パートのかけもちなどで家に親がいない状況で家庭で の勉強に目を向けられない。就学援助だけでなく、いろ いろな家庭支援ができないだろうか。ゆりにはまだ地域未 来塾や自主学習のひろばについては来年度以降はどうか なるか。	ゆりにはまだ地域未来塾等は継続しようと考えている。貧困対策に限っ てではなく全体に学習の場を提供していく。そのような場を必要と している子どもたちの支援にもつなげていきたいと考えている。 学校自体の事業というより、コミュニティースクールもそうだが、未 来塾にしてコミュニティに移ってきている。地域で支えるというこ で、来塾にしてコミュニティでも支援員は地域の人であり、地域の 人に支えられている。今回も「目標3」で載せているので、そちら の方で検討していただきたい。	(目標3) 社会教育部会	第1回
目標2	32~33	③子どもの貧困対策にある就学奨励制度については予 算枠のためにあるものか。 子どもの貧困連鎖を止めるのは教育しかない。子どもも に教育をしないとますます格差が広がる。この問題は 学校と家庭だけでは解決できない。 特に今コロナで問題が大きくなっており、コミュニ ティ・スクールでの学習支援など、地域の民間力を利 用した貧困対策が必要。	予算枠で取り上げているのではない。 教育の振興計画であり、子どもの貧困対策については福祉計画、町 全体としての総合計画、子育ての計画もあるので、あくまで教育の 分野でお願いしたい。		第2回
目標2	2-(8)	育児放棄や児童虐待への対応も取り上げてほしい。福 祉部局と連携していくことが必要である。	「2-(9)のいじめ・不登校等に対する対応強化」に盛り込んでい る。 SCやSSW等の専門家や役場福祉部局や児童相談所等と連携しなが ら、学校体制で早期発見、早期対応していきける体制をつくりあげて いく。	●36ページに記載 児童虐待に対して、早期発見努力義務・早期通告義務を 果たすとともに、児童生徒の安全を確保するために、学 校と福祉・医療・警察等の関係各機関が連携して、虐 待の被害を防止する適切な対策をとるための体制づくりに 努めます。	教育委員

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標2）

実施	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標2	33	子どもの貧困対策の【取組に対する評価目標】で「適切な就学援助制度の実施が100%」というのとは分かってにくい。「対象家庭の把握と制度の適用が100%」というように具体的に記載してはどうか。	検討する。	●33ページに記載 【取組に対する評価目標】 指標：毎年度、全児童生徒の保護者に周知を図る 目標値：100%	教育委員
目標2	35~37	不登校率が気になる。 子ども園の時から芽があり、家庭もバタバタして気に なる子ども園、小学校3、4年で不登校になったケースも あるし、中学校でも不登校になるケースがある。 気になる子、気になる家庭については、長いスパンで 子どもを見ていくような連携が大事。	【学校】「めざすところ」にあるように、未然防止、早期発見、早 期支援につなげることが必要となる。		第2回
目標2	39	25%を100%にするとというのが、町の少人数学級の指 標ということか。	成果に対する評価目標の現況値25%としているのは、昨年度、中学 校が2、3年生、羽合小が5年生、東郷小が3年生を対象として取り組 んできたもの。今後も継続していく中で、ティームティーチング指 導や少人数指導も少人数学級に併せて進めていきたいと考えてい る。		第1回
目標2	40~42	働き方改革をして逆に先生方がストレスを感じないだ ろうか。 子ども園や行政の取り組みはどうしているか。 コミュニティスクールのようになって、丁寧なお礼状をいた だくこともあるが、学校が担ってきた業務の削減とな るか。	法に基づいたもの。持続可能なものとするには必要。 子ども園や行政はノー残業デーを全体で月2回、各課で月1回実施し ている。 お礼状は国語の時間を活用している。業務が増加しているわけ ではない。 東郷小は登下校の見守りとして、今年から教職員の立ち番は無く なった。地域で担っていただくことで、教職員の仕事が減ってい く。		第1回
目標2	41~43	教職員の働き方改革についての記載だが、大きな見出 しではないかというかと思いが、パブリックコメント トヤ、議会に出したときに、今の状況下で反発がある かもわからない。働き方改革をしたら会社がつぶれると いう声を聞く。 先生方が大変なのは百も承知しているし、社会全体が 働き方改革が必要だとも思っている。	どういう社会を作っていくかを考えたときに、学校でいうと教員を めざす子が少ないという実態がある。持続可能な社会あるいは学校 を作っていくためには、働き方改革は避けて通れない。特に今はコ ロナ下で民間も厳しい状況であるのは承知している。民間も少子化と いう状況の中、企業も改革していかないといいけない。働き方改 革は避けて通れないと思っている。理解していただく努力をしながら 進めていきたい。		第2回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画検討委員会【学校教育部会】検討状況（目標2）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標2	2-(12) 41~43	<p>他に労働時間を短縮するだけでなく、子どもと向き合う時間を大事にするということを前面に出してほしい。</p> <p>学校が担いすぎている部分が大きいので、業務のスリム化が必要。</p>	<p>【学校】よりよい教育やよりよい子どもたちを育てていくための施策なので、効率よく良い授業を作るなど、仕事そのものの中身を見直す必要がある。</p> <p>仕事の流れや分担などを改善することによって、ゆとりのある中でよりよい授業をするために、学校全体として工夫しながら業務改善をしていきたい。</p> <p>地域の方の力をお借りしないといけないことがあるので、是非これからご協力お願いしたい。</p>		第2回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
第2章	11	第2次「人権」について、第2次の成果を自分なりにまとめ、「成果」とは良い結果のことであると考える。もっと良かったことも盛り込んでもらいたい。	文章を再考し盛り込んでいきたいと考える。	●11ページ (4) 人権教育の推進を全体的に修正	第1回
第2章	12	カットされている部分ですが、「5年ごとに行っている「人権意識調査」」ですが、とても大事な事業ですので、残しておかれた方がよいと思います。	残す方向で検討する。	●12ページ (4) 人権教育の推進 また、5年ごとに行っている「人権意識調査」を実施し、その結果を踏まえて、あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画の改定を行うことが必要です。	第2回
目標3 目標4		目標値の書き方ですが、もつ一つ先の目標をかけるのであれば、入れてみては。事業実施が目標となっている。	必要であると考えます。	●51ページに記載 【成果に対する評価目標】 人権セミナー理解度 ●52ページに記載 【成果に対する評価目標】 利用しやすい図書館 ●55ページに記載 【成果に対する評価目標】 文化芸術体験の満足度 ●58ページに記載 【成果に対する評価目標】 かつた・くつた発祥の認知度 地域活性化につながった ●60ページに記載 【成果に対する評価目標】 スポーツの習慣化 大会継続開催の満足度 ●67ページに記載 【成果に対する評価目標】 歴史講演会の満足度 歴史民俗資料館の満足度 いずれもアンケートによるものとする。	第1回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況（目標3）

目録	施策	ページ	質問・意見	当日回答	案修正	部会等
目標3		43	専門的職員（社会教育主事）の養成が必要だと考える。	必要であると考える。	●43ページに記載	第1回
目標3		43	「グローバル」「社会の変化」が弱い。公民館・図書館でカバーすることかな。他にもどこにも書いていない。意識的にどこかに入れてみてはどうか。	必要であると考える。	●43ページに記載 「人生100年時代」の到来が予測され、あらゆる世代に生涯学習の重要性は一層高まっています。すべての人が生涯をとおして学び続けることのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果を生かすことができ、技術革新やグローバル化など変化の激しい社会に対応するための新たな知識や技能、教養の習得、また、出産や子育て、介護等、ライフステージに対応した活躍支援、若者の活躍促進等を目的に、社会人の学び直しの推進が求められています。	第1回
目標3	3-(13)	31, 45	「学校運営協議会」の後に「コミュニティ・スクール」を入れること。	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）という表記で統一する。	●31、45ページに記載 「学校運営協議会」の後に「コミュニティ・スクール」を表記	第1回
目標3	3-(13)	44	「当事者意識」はその時だけになるので、「地域づくり」も入れて持続可能な形の文章にできないか。学校のためのボランティアは長続きしないと思う。	「地域とともにもある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」と2面で表記する。	●44ページに記載 子どもたちの豊かな成長のために、「地域とともにもある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」をめざして、学校・家庭・地域が目標や課題を共有し、協働して学校教育目標の実現を図ります。このため、学校運営に必要となる協働を行う学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と、PTAや地域住民、団体等の参画による、ふるさと学習などの授業支援、学校の環境整備や子どもたちの登下校の見守り等、地域と学校との連携・協働による地域学校協働活動を一体的に推進します。	第1回
目標3	3-(13)	45	「子どもたちの成長を支え」の後に「地域の活性化を図」る体制づくりという風にしてもらえないか。	修正する。	●45ページに記載 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）、地域学校協働活動等の取組みにより、社会総がかりで、子どもたちの成長を支えながら地域を活性化する体制づくりを進めます。	第1回
目標3	3-(14)	48	家族の日の認知度が低いのではないかと。5歳児健診で教育相談等子育て支援課との連携をお願いしたい。	子育て支援課との連携を実施していきたい。	●48ページに記載 子育てや家庭教育について関係課と連携し、5歳児健診等での教育相談に取り組み、必要な支援につなげていきます。	第1回
目標3	3-(14)	48	「成果に対する評価目標」の数字は、どこかアンケートか。あまりハードルを上げすぎないようにしてはどうか。	再考し、修正する。	●48ページに記載 【成果に対する評価目標】 「子育て・親育ち10か条」各条の「実践している」の回答率の平均値（子ども会育成者研修会アンケート）	第2回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況（目標3）

実施	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標3	3-(15)	50	巡回補導、あいさつ運動「延38人」とあるが、見守り隊など人数がたくさんいる。幅広くとらえてもいいのではないか。	<p>●49、50ページに記載</p> <p>【施策項目】</p> <p>②地域の人材や青少年育成団体等と連携・協力して、巡回補導・あいさつ運動・登下校等の見守り活動を実施し、青少年が安心・安全に過ごせる環境づくりを推進します。</p> <p>【成果に対する評価目標】に追加</p> <p>巡回補導・あいさつ運動・見守り活動参加者数 R1 137人 ⇒ R7 140人以上</p>	第1回
目標3	3-(16)	50	「現状と課題」と「めざすところ」と書かれている内容が重なっている。整理されてみてはどうか。「めざすところ」「現状と課題」「施策項目」が重なっている。	<p>●50、51ページに記載</p> <p>【現状と課題】</p> <p>第一段落 2文目を削除。</p> <p>【施策項目】</p> <p>第1段落 1文目を修正。</p> <p>人権尊重のまちづくりをめざして、町民一人一人がお互いを認め合い、年齢・性別・出自等に関係なく安心して暮らせる住めるよう、幅広い年齢層を対象とした人権教育を展開していく必要があります。</p>	第1回
目標3	3-(16)	51	人推協について 教委との関係ですが、人推協は有志の民間団体であり、研修の開催について教委が言及するのはいかかかかと思う。「支援」ではないか。	<p>「人推協の研修会」ですが、会員さんに向けた研修会を意味している。各部会は各部会で活動している。その支援になる事業という捉え誤解のないように修正する。</p>	第1回
目標3	3-(16)	51	人推協について 人推協の活動支援の研修会について、会員によっては「必要ない」ということ言う人がいるかもしれない。そのことを含んでおいた方がいいのではないか。	<p>意見を踏まえた形で今後の人推協の運営等を検討していきたい。</p>	第2回
目標3	3-(16)	51	人推協について 組織体制、規約含め見直しの時期に来ているのではないか。総点検をお願いしたい。部会によっては、事務高任せになっているところもある。他市町の話も聞きながら組織強化を図ってみたいかどうか。	<p>意見を踏まえた形で今後の人推協の運営等を検討していきたい。</p>	第2回
目標3	3-(18)	53	IT環境が広がっている。「ITの普及」「整備」を入れてみてはどうか。	<p>●53ページに記載</p> <p>生涯学習・社会教育の拠点施設として、ICT等情報基盤を整備しつつ、社会情勢の変化や地域住民の要望にあわせた各種講座や教室を開催することにより、生涯にわたる『学ぶ』ことを支援します。</p>	第1回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況（目標3）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標3 3-(18)	53	高齢者がパソコンをすすと世界が広がる。その仕掛けをしてはどうか。	必要であると考える。	●53ページに記載 生涯学習・社会教育の拠点施設として、ICT等情報基盤を整備しつつ、社会情勢の変化や地域住民の要望にあたり「学ぶ」ことを支援します。	第1回
目標3 3-(19)		記載内容がさみしい。もう少し町政20周年を迎えようとしている。教育委員会が主となり町史の編纂を行っていくことになると思うが、それに向けての取り組みを少しずつ進めていってはどうか。	意見を踏まえた形で今後の取組を検討し追加修正する。	●63ページに記載 また、令和6年に町政施行20周年を迎えるにあたり、町史編纂体制を整え、町の歴史を正しく記録し次代に引き継いでいく必要があります。	教育委員

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況（目標4）

目標	施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標4	4-(21)	59	今健康推進課を中心にウォーキングがよく行われている。町でもいろいろ連携をしていると思うが。	健康づくりにつながるようにしていくようにしていきたい。	●59ページに記載【施策項目】運動機会を継続的に提供するとともに、町内ウォーキングイベントなど健康づくりの機会と併せて情報提供を行います。いながら、スポーツの習慣化を図ります。	第1回
目標4	4-(21)	59	「自然の中でウォーキングを楽しむ」を入れてみてはいかがでしょうか。	いただいた意見のとおり文言を追加して修正する。	●59ページに記載【施策項目】ほおるん・ピュゴやハウンスポールなどのニュースポーツ、自然の中でウォーキングを楽しむ機会、ノルディックウォーキング教室、新春かけろう会などを定期的に開催	第1回

第3次湯梨浜町教育振興基本計画【社会教育部会】検討状況（目標5）

施策	ページ	質問・意見	当日回答	素案修正	部会等
目標5 5-(23)	65	【取組に対する評価目標】で「町指定文化財指導委員の新設」とあるが、今なぜ新設する必要があるのか。	現在、町内の国と県の指定文化財について、県から任命された県文化財保護指導委員2名が、巡回して、何かあれば県と町に報告が来るようになっている。町文化財保護委員は、点検はしていない。もし何かあった時にだけ連絡をいただくとよいようにしている。新設する町指定文化財指導委員は、教多くあります町指定文化財を巡回していただき、何かあった時は報告していただくようにする。町内の文化財がすべて点検でき、適切な管理ができる形になる。	●64ページに記載 【施策項目】 町指定文化財を点検し状況を把握するため、新たに町指定文化財保護指導委員を新設するとともに、県文化財保護指導委員や町文化財保護委員と連携し、定期的な指定文化財のハブロールを行う。【取組】 町指定文化財指導委員の新設（東郷地区1名、羽台・泊地区1名）	教育委員
目標5 5-(23)	64, 65	湯梨浜町には大変すばらしい文化財がある。しかし、もしかしら転入者の方の中にはこれらを知らない方もいるのではないか。文化財の保存だけでなく、多くの人への周知を進めていく活用方法をしっかりと考えてほしい。	いただいた意見のとおり対応する。	●67ページに記載 【施策項目】 歴史や文化を見て・知って・感動してもらうため、現地学習会や歴史講演会などふぶさとの歴史や文化を学ぶ機会を設け、魅力ある事業の企画・運営を行います。 ○取組 ○歴史講演会や現地見学会、文化財に関するイベントを開催し、関係機関と連携し、文化財を活用した学習を実施 ⇒ 町内小中学校で実施	教育委員
目標5 5-(24)	65	青少年の伝統文化の参加状況が芳しくないのでは。	修正する。	●65ページに記載【めざすところ】 青少年への無形民俗文化財の普及に努め、継承への意識の向上を図ります。無形民俗文化財や伝統行事への取り組みにより、人と人との繋がりを強め、地域コミュニティの維持に努めます。	第1回
目標5		伝統文化、団体等支援する取り組みはあるか。	補助金もある。連絡協議会を立ち上げた。協力してできることなど話し合いを重ねている。後継者不足も議題に上がっている。湯梨浜中で伝統文化と触れる取り組みを始めている。		第1回
目標5 5-(25)	66	「学校教育」「生涯学習」は別の意味か。	修正する。	●66ページに記載【現状と課題】 文化財を学校教育をはじめ広く生涯学習の対象とするなど、さまざまな場面での活用が求められます。	第1回
目標5 5-(26)	67, 68	【現状と課題】 三つ目の○最初の一文については、現象としてはいいと思います。特定の希少物が…は言及しなくてもいいのではないか。	修正する。	●68ページに記載【現状と課題】 自然環境の悪化は、希少野生動植物に影響を与えます。希少野生動植物を保護するため環境保全が必要です。希少野生動植物の保護に関する機運を醸成し、地域や個人または団体などで自発的な環境保全への活動が必要で	第1回